



みなみ区 冬みち便り

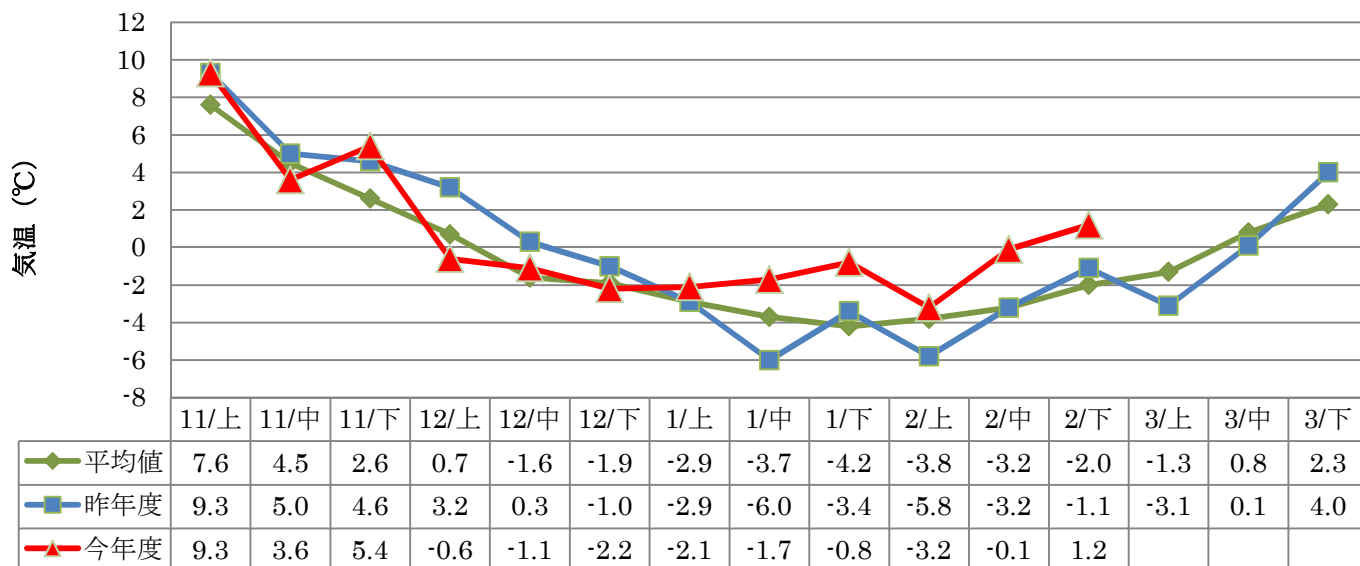
平成 27 年 3 月上旬号
南区土木センター

各区の降雪・積雪量（3 月 5 日現在）

		気象台	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
降雪量	平均値	498	421	516	494	429	523	333	434	399	522	451
	昨年度	397	433	524	518	377	508	378	398	405	491	457
	今年度	342	328	415	410	336	338	304	350	377	427	446
積雪深	平均値	70	61	87	98	75	88	70	84	76	95	89
	昨年度	81	69	101	116	62	79	79	80	77	97	94
	今年度	60	34	74	74	46	60	74	78	65	84	62

※気象台以外は、各区土木センターで計測した値です

平均気温



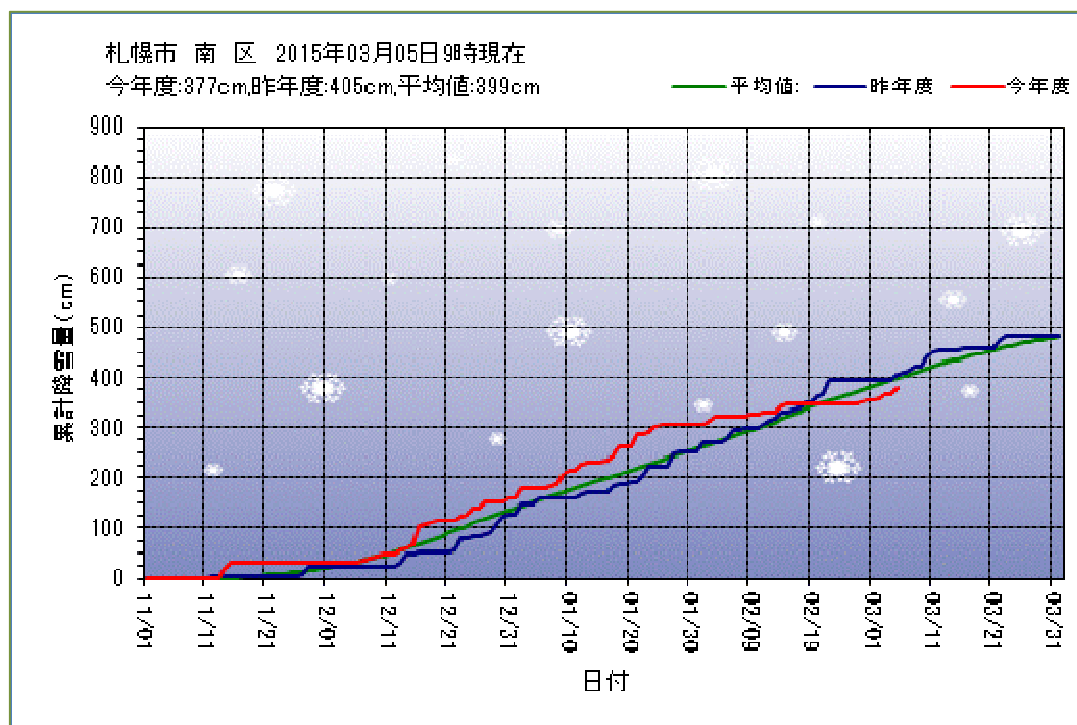
南区の気象状況と除排雪作業の状況

2 月末からは、連日数センチの降雪はあるものの、新雪除雪の出動基準である 10cm を超えるような降雪はありません。

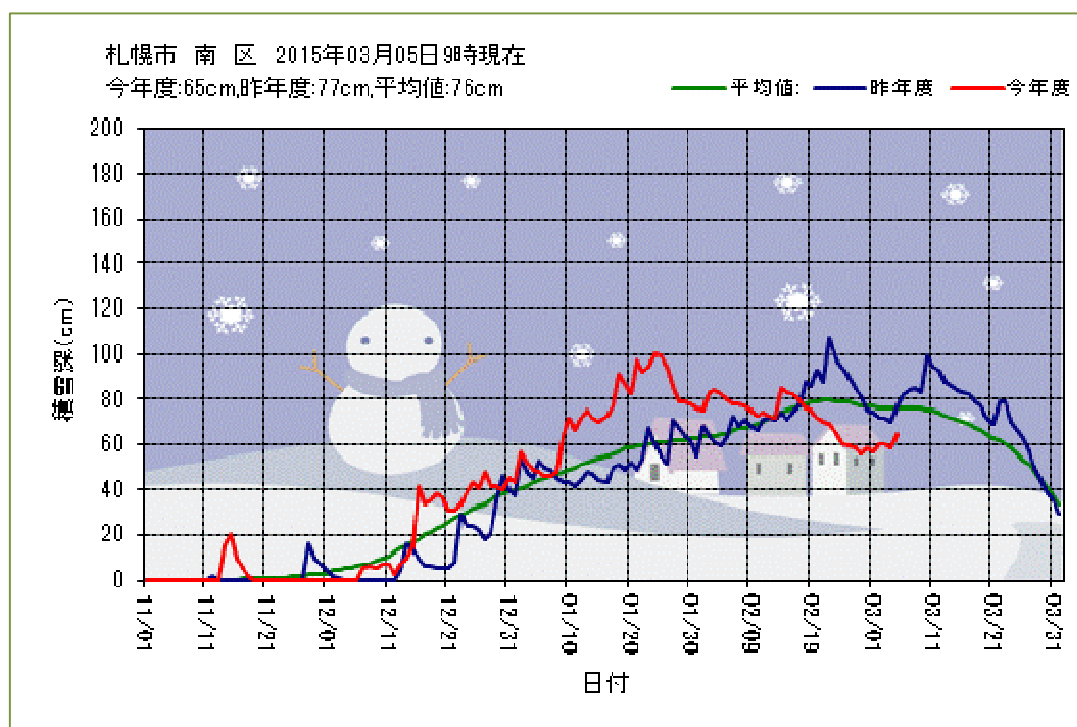
除雪パートナーシップ制度や市民助成トラック制度による生活道路の運搬排雪も終盤を迎えており、あと数日（3 月上旬まで）で完了する見込みです。

3 月を迎え、日中の気温上昇によりザクザク路面が多発する時期となりましたが、ザクザク路面の処理については、かき分けるだけの新雪除雪と違い、非常に時間がかかる作業です。このため、部分的な道路のザクザク路面については適宜対応に努めますが、暖気による気温の急上昇や降雨といった場合には、広範囲にわたり一斉に発生するため、作業完了までにお時間をいただく場合がありますので、ご理解をお願いいたします。

南区土木センター観測の累計降雪量（3月5日現在）



南区土木センター観測の積雪深（3月5日現在）



冬みちトピックス

南区の学生ボランティア

市だけではなく、町内会や学生など、市民の皆さんの力が私たちの冬の暮らしを支えています。厳しい冬だからこそ、みんなが少しずつ周りを思いやり、人にやさしくなることが大切です。

一例として、南区で行われている学生ボランティアをいくつかご紹介します。

これからもみんなで協力し、雪と上手に付き合いながら、冬の暮らしをより良いものにしていきましょう。

● 東海大学の除雪ボランティア

南沢にある東海大学札幌キャンパスでは、藻岩地区・南沢地区・中ノ沢地区・北ノ沢地区の町内会会員の中から、自力で除雪することが困難な世帯を対象に、除雪支援ボランティアに取り組んでいます。この取組は 2008 年度に発足したもので、7年目を迎えた今年度は学生 92 名が参加。94 世帯を対象として授業の合間や放課後に各世帯を訪問し、除雪活動を行っています。



● 澄川中学校の福祉除雪

高齢者や障がいのある方を対象にした福祉除雪のボランティアとして、澄川中学校の生徒は制度発足の平成 13 年度から参加しています。今年度は 30 名が参加。大人の福祉除雪協力員と同じ条件のもとで、それぞれの町内会にある対象世帯 14 世帯の除雪を行っています。

● 北海道札幌養護学校もなみ学園分校による砂入りペットボトル作成

南区では、地下鉄駅周辺などの一部の砂箱にペットボトルに砂をつめた“コロバースボトル”を配置しており、毎年約 8,000 本ものコロバースボトルが利用されますが、このうち約 5,000 本は地域の皆様のボランティアで作成していただいたものです。

中でも、北海道札幌養護学校もなみ学園分校では、中学部と高等部の生徒があわせて年間 4,000 本ものコロバースボトルを作成しています。



● 真駒内中学校の砂まきボランティア

真駒内中学校では、学校周辺の歩道に生徒が滑り止めの砂をまくボランティア活動を行っています。1 月下旬から 2 月にかけて、約 2 週間おきに 3 回、学年ごとに実施しており、真駒内駅や南区役所などを往来する市民の安心・安全な通行に役立っています。